

つながるころ ちからをあわせ はじけるえがお しあわせいっぱい



# つちはし

## ぜんき じき 前期まとめの時期となりました

かわさきしりつつちはししょうがっこうこうちゅう よしの あきこ  
川崎市立土橋小学校校長 吉野 晶子

なつやす あ げんき こども こえ がっこう もと ことし れんじつもうしょ つづ あつ  
夏休みが明けて、元気な子供たちの声が学校に戻ってきました。今年も連日猛暑が続く、「暑すぎる夏」という言葉をたくさん耳にしました。あまりの猛暑続きで、外出を控えるような呼びかけもあり街中から子供たちの声が消えたとも言われました。南海トラフ関連の地震対応や次々と発生する台風への心配も続き、防災への意識を改めて確認させられた夏でした。夏休みが終わり、8月28日の登校再開初日に校舎内をまわると、黒板には担任からのメッセージやイラストが書かれている教室を多く見かけました。39日間という長い休みを過ごした子供たちが登校してくる姿を思い浮かべながらそれぞれの担任が準備したものだと思うと、心が温かくなりました。この夏休み期間中、子供たちの大きなケガや事故の報告が入ることなく、無事に教育活動を再開できましたことを何よりうれしく思います。これも保護者の皆様と地域の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

さて、川崎市公立小・中学校は2期制のため、夏休み明けからは前期のまとめを行う時期となります。前期終了までのこれから約1ヶ月間は、各学年級で学校生活や学習のまとめに取り組みます。そして、後期に向けて子供たち一人一人が成果と課題について振り返りを行う大切な日々となります。昨年度より、通知表「のびゆくすがた」の前期所見への記入がなくなりましたので、個人面談にてお子様の前期の学校生活や学習のようすをお伝えしていきます。本日、各学年級で配付しております個人面談予定表のように、お一人20分という限られた時間となっておりますが、所見の文章では伝えきれない有意義な面談内容としていければと考えております。お忙しいこととは存じますが、ご来校いただきますようよろしくお願い申し上げます。また、9月10日(火)には前期最後の授業参観を実施いたします。2学年ごとに参観時間が設定されておりますので、ぜひ多くの皆様に子供たちの様子をご覧いただきたいと思っております。

先日、屋外で作業されることの多い校務員さんとお話した際に、朝夕の様子から「季節は一步步ずつ先へ進んでいますよ」と教えていただきました。気温と湿度が高く、残暑が厳しい毎日ではありますが、一步步ずつ進む「秋」の訪れを感じながら過ごしていきたいと思っております。